心の窓

校訓：かしこく　やさしく　あかるく　つよく

令和４年３月４日（金）

南関町立南関第四小学校　学校だより

No.４３　　文責：松永　尚子

四小校区の歴史を学ぶ

３月２日（水）の３～４校時総合的な学習の時間に、６年生は「四小校区の歴史を学ぶ」というテーマで、南関四小から外郷橋までを歩きながら、鎌倉時代からある「来光寺の五輪塔」や「大迫六地蔵」「参勤交代」の道、石で造られていた外郷橋等について学びました。読み聞かせでもお世話になっている、松永欣子様に外部講師として一緒に歩き、たくさんの説明や昔話をしていただきました。

参勤交代の道を歩き、三角山のところで、松永様からクイズが出されました。「この道は、ある有名な武将が何人もの家来を連れて歩いた道です。さて、誰でしょう。」子供たちからは、「徳川家康かな」「吉宗かな」などのつぶやきが・・・。「実は、豊臣秀吉です。２千人もの家来を連れて、この道を通ったと言われています。そして、薩摩に向かったそうです。」と言われました。こんな身近なところに、歴史上の有名な武将が通った場所があるということを聴いて、みんなが遥か昔のことに思いを馳せていました。来週の同じ時間に、今回の続きの道を歩くパート２をする予定だそうです。

２年生も参加しました。委員会活動

３月２日（水）、２年生も参加しての新委員会活動がありました。２年生にとっては、初めての委員会活動。委員長は５年生にバトンタッチし、それぞれの委員会で、しっかり頑張りました。また、４年生が副委員長や書記になり、リーダーを支える役として活躍していました。２年生のみんなも、張り切って参加しました。６年生からのアドバイスをもらいながら、これからの活動内容などを決めていきました。委員会活動から四小を盛り上げてほしいと思っています。

詩の暗唱がんばったよ（１年生）

１年生の廊下には、右の写真のような「おんどくがんばりカード」が掲示されています。そこで、担任の森田先生にこの内容を聞いてみました。これは、詩集「ひばり」（４７編）の詩の全編暗唱する取組です。４月から１年間かけて頑張り、最近では、続々と全編を暗唱する子どもが増えてきているそうです。この詩集には下のような詩が収められています。

お日さん、雨さん
金子　みすゞ

ほこりのついた
しば草を
雨さんあらって
くれました。

あらってぬれた
しば草を
お日さんほして
くれました。

こうしてわたしが
ねころんで
空をみるのに
よいように。

たけのこ
工藤　直子

もっこもっこ
おはよう
たけのこぼうや
うまれたばかりの
たけのこぼうや
えりかきあわせて
おそらを見れば
まだまだねむたい
くもりぞら

では、詩の暗唱にはどのような効果があるのでしょうか。言うまでもありませんが、言葉は音声や文字を使って意味を伝えるものです。たくさんの詩を暗唱することで、たくさんの言葉を獲得することができます。それは、ひいては自分の感性を豊かにし、思考力を深め、自分の思いを表現できるようになることにつながります。

子どもたちが４７編もの詩を暗唱するためには、ご家庭でも聞いていただいたり、励ましていただいたりしたことだと思います。たいへんありがとうございました。

くぎうちって楽しいね。図画工作（３年生）

３年生は、図画工作で「くぎうちゲーム」を作りました。１本１本の釘を丁寧に打って、玉の通る道をつくります。滑車も使って楽しそうなゲームができました。